

食料安全保障アドバイザリーボード第7回会合
議事要旨

日 時：2022年3月24日（木）13:00～14:00

場 所：Web会議システムを用いたオンライン開催（非公開）

出席委員：野口委員、平澤委員、渡辺委員、三輪委員、末川委員、中井委員

議 題：食料の安定供給に影響を与える国内・国外のリスクの分析・評価の進め方について

【議事概要】

（食料の安定供給に影響を与える国内・国外のリスクの分析・評価の今後の進め方に
ついて意見交換）

- 食料の安定供給については国内生産基盤の弱体化が最大のリスク。このため、リスクを再検討し、海外におけるリスクのみならず、国内におけるリスクをよく整理・特定した上で、その長期的な動向等を分析・評価する形がよい。
- リスクを整理・特定する際は、そのリスクが発生する段階に着目し、原因事象、中間事象、結果事象の3つに分類するとよいのではないか。
- 各リスクについて、品目別に部分最適化するだけでは適切な分析・評価とならないことがあるので、取りまとめの時に全体最適化する議論も必要ではないか。
- 生産に関する視点だけでなく、サプライチェーン、食品産業、消費者に関する視点も必要。
- 昨今の世界情勢を踏まえれば、海外のサプライチェーンについて、調達先のリスクとして、レピュテーションリスクも考慮する必要があるのではないか。

（以上）